



三春中学校だより

第45号

発行日 令和元年12月20日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【町の産業振興に一役買うかも！？ ～町から問い合わせがありました。～】

1年生ホールには、展示パネル一面に、先日お伝えした地域学習『三春学習』のレポートが掲示されています。自分が生まれ育った三春という地域を知り、自分はその姿をどう受け止め、どう地域の一員として関わっていったらいいのかについて1年生なりに考え尽くした成果でもあります。



先日は町の方から、1年生が考えた『まちづくり』への提案について教えていただきたいし、参考にさせていただきたいという連絡がありました。早速、学年の先生方が子どもたちのレポートを町へお送りしました。

若い柔軟な頭で考えた、それぞれが生まれ育った地域における『まちづくり』、そして、そのための具体的な自分と地域との関わり・提案など、1年生の学習が、ひょっとすると現実のものとして、『三春町』の地域振興、活性化に大きく役立つときが来るかもしれません。

【飛び出し、忘れ物にも注意！ ～狐田・過足・根本コースに同乗しました。～】

12月18日(水)はスクールバス同乗3日目、狐田・過足・根本コースに同乗しました。このコースは橋が多く、それだけ入り組んだ地域で、人目につかない地点も各所に散在していました。特に、夜間の通行、一人歩きには十分注意しなければならないなという感を強くしました。

学校を定時にスタート。保育所の前の坂を下って、バス会社の前を過ぎた瞬間、左側の土手から、赤っぽい動く物体が飛び出してきました。「あっ。」と思い、運転手さんもブレーキに足が。猫でした。飛び出し猫ちゃんは道路に着地した瞬間に危険を察知したのか、体を反転させ、飛び出してきた土手を駆け上がっていきました。運転手さんとは、「猫には日本語が通じないから言って聞かせるわけにもいかない。急ブレーキや急ハンドルで乗客の子どもたちにはけがをさせるわけには絶対いかないので。」などと話し、何事もなかったことに二人で安堵しました。

その後、街灯が点するコースを順調に子どもたちを下ろし、蛇石地区を過ぎたところに男子生徒が、「落とし物です。」と黒い平べったい物体を運転席に持ってきてくれました。携帯電話でした。「それがあった辺りに座っていたのは？」と尋ね、学校に連絡し、教頭先生が確認してもらいましたが本当にはないということでした。翌日の朝、運転手さんから、「持ち主がわかりました。高校生でした。」という報告をいただきました。よかった、よかった。校門のあいさつ運動から戻って昨夜、電話で確認した生徒さんに、「迷惑かけてごめんね。持ち主が見つかりました。」と謝って、一件落着となりました。親御さんにもご迷惑をおかけいたしました。

スクールバスの中ではいろいろなことが実際は起こっているのですね。乗ってみて初めてわかったこともたくさんあります。「事件は机の上で起こっているんじゃない。現場で起こっているんだ。」というどこかで聞いたセリフが思い起こされました。これからも子どもたちと共に、地域と共に、ひたむきに、そして、こころ豊かな生活をしてまいりたいと思います。



【『命の輝き』！ ～共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに清掃にも取り組みます。～】

校長室・会議室清掃にはすばらしい子どもたちが集まってきて、すばらしい清掃ぶりを見せてくれています。今回の担当の生徒さんも、当初はいろいろアドバイスしたり一緒にやって見せたりしたこともあったのですが、現在は、何も言うことがなく、ただただ、「すばらしいよ。」と褒めるだけです。

どこのそんなにすばらしいのかをぜひ知っていただきたく、『会議室・校長室清掃特集』を組みたいと思います。

まず第1 校長室や会議室はお客様がいらっしゃる会議で使用したりする機会が多くあります。この日は会議室で事務の先生方の会議があり、清掃できませんでした。そんな時はどうするか。この日を『校長室徹底清掃日』にしたそうです。やる場所がないから早く終わるのではなく、班長さ

んや班員さんたちの判断で、清掃時間をしっかり活用して、普段手が回らないところまで徹底して清掃するようにしたそうです。すばらしい判断だと思います。

次に第2 1年生2名が校長室の掃き掃除。3年生2名の姿が見えません。間もなく3年生の女子がポリバケツに水を汲んで重たそうに抱えてやってきました。役割分担を班長さんが指示し、能率的に掃き掃除から拭き掃除までつながるような配慮でした。すばらしい関係プレーでした。

さらに第3 掃き掃除をしている1年生がテーブルや椅子を移動しはじめました。普段手が届かない場所も動かせるものは今日は動かしてという判断、それをうけて3年生の女子が隅々まで拭き掃除、それに掃き掃除をしていた1年生が加わり、壁際、椅子の脚、敷居、ドアの後ろまで心を込めて拭き掃除をしました。その後移動したものを元に戻し、それがあつた場所もしっかり拭き掃除したことは言うまでもありません。すばらしい連携、協力ぶりです。心の込めよう、徹底のしようでした。

もう一つ第4 これまで班長さん、なかなか登場してきませんが、班長さんは何をやっていたかという、植物の枯れた葉っぱを片づけ、机の上をふいてくれていました。そして、もう一つ大切な活動は、“全体指揮”でした。校長室全体を見回し、気になったところを清掃する一方で、班員の清掃ぶりに目を配り、いろいろな指示を出していました。すばらしいリーダーシップぶりでした。

そんなさまざまな“すばらしさ”が詰まった清掃の時間でした。清掃終了の放送と共に整列した4人の校長室・会議室清掃の生徒さん、壁によりかかったりそわそわ動いたりすることなく、その整列ぶりまで自信にあふれてみえました。

これからもすばらしい清掃を続けると共に、そのすばらしさを学校全体にも普及させていってください。すばらしい清掃ですよ。



【何気ないことですが！ ～CGの扉を閉める生徒さんに遭遇しました。～】

寒さが厳しくなった校門での朝のあいさつから戻って生徒昇降口を歩いていると、CGにつながるガラス扉が50cmほど開いていました。そこをたまたま通りかかった女子生徒がそれに気づき、しっかりと閉めてくれていました。「ありがとうね。」と声をかけたら恥ずかしそうにあいさつして教室に戻っていきました。暖かい空気が逃げないよう、暖かい環境でみんなが勉強できるように、みんなのことを考えてくれたのかなあと感じました。

今、学校の先生方には、学校は税金で運営されている。教育のために施設等を大いに活用する一方で、使わない教室の電灯や子どもたちが帰ったあとのホームベースなどの電灯は極力消灯するようにと伝えてあります。いい子だなあと感じた一瞬でした。

